2021 年度第 5 回理事会　議事録　2021.10.21

日時：2021 年 10 月 21 日（木）19：02～21：30
場所：オンライン開催のため各自自宅・職場
出席理事：神保武則(会長)、田中ゆかり(副会長)、金山桂(副会長)、吉本雅一(事務局長)、玖島弘規、佐々木秀一、
　　奥原孝幸、佐藤隼、遠藤陵晃、神田崇央、佐藤範明、戸塚香代子、望月強併、澤口勇、西川航平（16 名）
欠席理事：野本義則、木村修介、大郷一成(3 名)
出席監事：錠内広之、野々垣睦美（2 名）
その他出席：池田公平(選挙管理委員会　委員長)

Ⅰ.会長より挨拶

今後も月 1 回の理事会を続け、密に連絡をとっているが、今回の理事会においても多くの議事がある。円滑な議事進行と将来を見据えた活発な討議にご協力をお願いしたい。本日も理事会の司会進行は吉本事務局長にその任を依頼する。

Ⅱ.報告事項について(トピックス・各部署・理事・三役)

【トピックス】

1．選挙管理委員会

(1)選挙管理委員長よりあいさつ

選挙に関するマニュアルについては選挙ワーキンググループにて検討してくださって感謝している。マニュアルに沿って今年度実施される代議員選挙を執り行っていく。

(2)代議員定数の報告

2021 年 10 月 1 日付で県士会の正会員総数は 2353 名（A ブロック 1386 名、B ブロック 931 名）であった。したがって 2022・2023 年度の代議員定数は 77 名（A ブロック 46 名、B ブロック 31 名）で確定した。

(3)選挙に向けたスケジュールなど

11 月度理事会にて選挙管理委員長より説明する

2．2021 年度地域支援事業への参画推進のための WEB 研修会　報告(遠藤理事より)

今回当会からは 5 名（西川・佐藤準・田中・佐藤範明理事、札野部員）が参加（遠藤理事は OT 協会の委員として参加)。

(1)中村協会長からの挨拶

介護予防と保健事業の一体化について、職種に作業療法士の明記がなく日本作業療法士協会、リハビリテーション議員連盟が協働し職名を記載するよう働きかけた。介護保険制度にある生活行為向上マネジメントの算定率が低くなっている。作業療法士の専門性、職域など会員と一緒に考えていきたい。

(2)研修会の内容

作業療法士が全国約 1,700 すべての市町村の地域支援事業へ参画することを目標として、協会士会連携ならびに士会間連携を一体的かつ積極的に進めていく。地域支援事業と OT は親和性が高く QOL に寄与することができるが、課題もある。各課題について各士会が取り組まなければ推進できない。会長・副会長にもぜひ参画してほしい。

先進事例として大阪府士会による生活課題アセスメント訪問指導者育成事業の研修やケアマネと一緒に同行訪問アセスメントし、ケアプランの一助とする活動や、高知県士会の地域の介護人材不足のため一般住民のサポーターや OT がアセスメントをしていることが報告された。

(3)今後について

次回開催は 11 月 20 日(土)を予定。通所 C 型全国の 15 事例について共有予定。

引き続き、遠藤理事は日本作業療法士協会の委員として出席予定。県士会出席者は遠藤理事が統括する。積極的に多くの理事に参加してもらう予定。

【各部署】

1．事務局

(1)県士会 HP 更新について

ウェブサイト管理委員会と協力して、問い合わせ窓口、よくある質問について整理更新を行った。会員問い合わせ専用メールアドレスを作成し問い合わせがスムーズに受けられるように整備した。役員間や渉外業務では従来のメールアドレスを継続して使用する。

(2)県士会裁量ポイント手続きについて

教育部と協力して手続きの方法を整備した。年間 2 ポイントまで申請できるポイントについて、対象者別に手続きの方法を明文化した。対象者は県士会事務局でリストに保存し、年度末に教育部より日本作業療法士協会へ申請する。

2．財務部・監事

(1)中間監査について

10 月 16 日(土)に実施。上半期の活動ならびに収支が概ね健全であることを報告。

今後も各部委員会長は適正な運営を務めるとともに、オンライン会議を含めて透明性を担保するために記録・報告に努めるように改善について提示。

監事報告書の書類について（一社）の記入と監事の役職を加えるよう助言あり。

3．制度対策部(吉本事務局長より代理報告)

(1)災害時安否確認システムの訓練報告

ア)災害時県士会員安否確認訓練の件

9/25　11 時　県下に震度 6 弱発生を想定し、同時刻に安否確認システム登録フォームを県士会 WEB サイト上に設置。

72 時間後　9/28　11 時にて　32 件の安否確認登録あり（昨年度は同時点で 9 件）

10/25　1 か月後の数値を捉え終了とする

イ)理事役員災害時連絡訓練

9/25　11:00　県下に震度 6 弱発生を想定

9/25　11:30 事務局長発信の理事役員の安否確認 LINE に対して、同日 14:24 にて理事役員全員の安全の報告を確認

9/25　13:00 事務局長発信の理事役員の安否確認メールに対して、9/26　11:23 にて理事役員全員の安全の報告を確認

9/26　13:00　災害対策本部立ち上げ、本部長の神保会長より理事役員メーリングリストにて「事業執行可否に関する情報報告依頼」のメール発信

9/28　20:00　全部門から「事業執行に概ね問題なし」の報告あり

9/29　13:00　上記報告により通常業務可能と判断し災害対策本部を解散

9/29　13:30　訓練終了

ウ)所感

県士会員安否確認は昨年より件数は多いが、まだまだ少なく啓発の工夫が必要であるため再検討する

理事役員連絡訓練は非常にスムーズであり、特に補助的手段である LINE の早さ利便性の高さを実感

4．学会評議委員会(戸塚理事・田中副会長より)

(1)2022 年度開催　第 5 回神奈川県臨床作業療法大会について

ア)実行委員会の構成メンバーについて

大会長は神保武則会長、実行委員長は佐藤隼理事と報告あり

イ)臨床大会のコンセプトについて

作業療法士が関わる領域は、医療・保健・福祉・教育・職業・その他に大別されているが、目的は共通して「人々の健康と幸福を促進すること」にある。神奈川県作業療法学会が学術的な研鑽の場であることに対して、臨床大会は作業療法の実践の報告やそれぞれの領域の実践を知る場とし、それぞれの領域を超えて作業療法の「専門性」「手段」「楽しさ」を共有できる大会にしたい。

他領域や多職種との連携・協働の実践、SIG、最新のテクノロジー(デジタルファブリケーション、介護ロボットなど)、地域包括ケア、地域共生社会など様々なテーマでの開催を目指す。

[“学びのお祭り”]

①会員の交流(知り合いになる・情報共有・意見交換)

②県士会の重点課題に対する方向性を示す研修を企画する

③県内 ＳＩＧ の力を借りて、県内の ＯＴ を盛り上げる

④エリア化と連動した、地域の活動の紹介や話し合い

エ)実行委員会の立ち上げについて　大会長・実行委員長よりあいさつ

会員同士の交流集いの場を作りこれまでのこれからの作業療法を集約したイベントとしたい。各地域で行われている作業療法をテーマに多くの役員の協力を賜りながら大会開催を実現したい。

(2)第 18 回神奈川県作業療法学会　進捗報告

ア)参加登録：2021 年 10 月 18 日（月）～11 月 12 日（金）　広く会員参加の呼びかけの協力を依頼

イ)WEB 学会会期　Ｅレクチャー開始：2021 年 11 月中旬を予定

ウ)ＬＩVE 配信：2021 年 12 月 4（土）5 日（日）

オ)オンデマンド配信：～12 月 26 日（日）17：00 まで

カ)一般演題：採択 47 演題　決定

キ)広報：会員約 500 施設宛に学会案内のチラシ送付予定

(3)第 19 回神奈川県作業療法学会　学会長について

学会長候補を検討している。今までの検討経緯も踏まえて湘南地域、川崎地域の先生方にぜひ協力をいただければと考えている。理事会で推薦できる方を田中副会長まで紹介してほしい。11 月理事会で審議したいと考えている。会場については県士会で準備する。あくまでも運営上の実行部隊であることを確認する。

5．地域リハビリテーション部

(1)地域リハビリテーション人材育成研修会

地域 OT ミーティング　　11 月 12 日(金)　19：30～21：00

→地域事業について話し合う機会として開催。広く理事役員にも参加を依頼する。

【理事】

1．田中理事・遠藤理事・佐藤準理事・西川理事

(1)地域支援 WG より報告

ア)アンケート実施状況と次回 12 月からのアンケートについて

9 月アンケートでは 100 名中 40 名程度の回答者から地域支援に関与したいという積極的な回答があった

次回は会員向けアンケート実施を予定　全正会員数の 10%以上の回答を目標とする

周囲の会員への協力推進をお願いしたい

イ)理事から提案された代議員への意見聴取について検討

当ワーキンググループでは地域支援に関する活動のみとする

地域支援以外の活動については別事業で行うこととする

エ)地域支援事業 PR について「OT の活用推進のためのリーフレット」

A3 両面のリーフレットを作成中。多職種の意見も参考にしながら今年度中の完成を見込んでいる

オ)次年度予算と担当部署の検討（リーフレットの印刷費や発送費等 PR 活動費）

今年度は今後 1～2 回程度(12 月、3 月頃)会議を予定

リーフレット印刷費・発送費等は地域リハビリテーション部、広報部、地域包括ケアシステム推進委員会等で按分して負担する予定

次年度もワーキンググループとして引き続き活動を継続する

2．金山理事

(1)選挙ワーキンググループより報告

ア)立候補届・推薦届の提出については県士会事務局留とする

イ)立候補届の受理連絡については県士会公式アドレスを作成選挙管理委員会よりメールで連絡する

(2)Zoom アカウントについて

研修会用の Zoom アカウントを新規に契約。詳細については追って理事メーリングリストにて案内する。

3．佐藤隼理事・佐藤範明理事

(1) 公式 LINE アカウント運用方法について

10 月 15 日締め切りで意見を募ったが特段意見はなかった。掲載情報転用時のリスク対応を追加した運用マニュアルに沿って公式 LINE アカウントの運用を開始する。公式 LINE アカウント専用メールアドレスを設定が完了しプレリリースを行った。会員へ公表し友達登録を増やし活用していく。

4．澤口理事

(1)リハビリ手帳　POS 合同会議報告(9 月 7 日・10 月 8 日開催)

以下 2 点を下案として決定した

ア) ADL 場面に対しての各職種からのアドバイス提示を中心に記載する

イ）製本という形態ではなく各士会 HP からの資料ダウンロードにてファイリング等（方法は未定、今後検討）をおこない本人または家族が所持する

本事業の目的・目標の明確化が必要であり、今後の方向性を明確にするために次回の会議ではその点も含めて検討していく

(2)会員増ワーキンググループより報告

10 月 15 日に第 1 回会議を開催し以下について検討した

ア)入会を増加するための戦略のヒントやアイデア

入会勧誘の機会を増やす

学生へのアプローチ→第 18 回神奈川県作業療法学会は動画等について各養成校に共有配信予定

イ)今すぐに行える対策

養成校への当会 PR 活動→県士会ニュースの送付

入会しやすい形態方法の検討

入会するきっかけイベントの増加

研修会参加者の未入会者へのアプローチ→研修会ごとに個人情報の利用を明記し使用する

ウ)時期を追って必要な戦略

会員の実態調査→会員の平均年齢やキャリア等を収集し県士会企画の立案に活かしていく

エ)今後のワーキングの予定

会員増についてマネジメントする部署が必要か。例えば学会後の学生向け動画配信も「入会に向けたアプローチ」までセットできれば良かったが、そうではない。

【三役】

1．40 周年記念事業プロジェクトチームについて

企画書をもとにワーキンググループで 11 月に第 1 回検討会議を予定

当会 40 周年の会員への周知については県士会ニュース 12 月号で広報する

県士会ホームページや公式 LINE アカウントを利用してイベント等を今後広報していく予定

2．次年度事業計画・予算案の作成について

ア)所定の事業計画フォーマットに詳細を記載し 11 月 7 日までに各部署から提出を依頼

提出された各部署からの提案を纏めて共有し各理事より各部署に対する意見を募る

イ)公益法人化対策委員会からは公益事業に関する資料を理事会に共有し事業計画に反映できるよう支援する

ウ)事務局より各ワーキンググループの来年度計画・予算の共有を依頼→事務局の事業計画に反映

エ)来年度も引きつづきオンライン会議の有効活用は継続する見通しであるため、必要性や妥当性について綿密に計画を立ててほしい

3．医療介護総合確保促進法に基づく令和 4 年度神奈川県計画へ位置づける事業アイデアの募集について

神奈川県の担当から現在時点では特段質問や連絡はなし

提案した認知症関連の研修会については認知症対策委員会にて県民向け研修会事業として来年度事業計画を模索検討する

Ⅲ.審議事項について

1．各部門　部員委員承認について(事務局取り纏め)

→承認

2．横浜市障害支援区分認定審査会委員について(金山副会長)

横浜 YMCA 学院専門学校名古屋和茂氏が次年度辞退を希望されたため以下の会員を後任として推薦する

OT 協会会員番号　8375　三川年正（みかわとしまさ）氏

湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科→承認

3．学術誌の電子化とオンライン査読システム導入について(佐々木理事)

投稿から発表までの期間が短くなる。初期費用は例年並みの予算がかかるが、2 年目以降抑えられる。

→承認

会員が能動的に確認する必要があるため、周知方法や学術誌の製本版(必要時)の作成、会員限定もしくは有料など会員への差別化については学術部にて引き続き検討する。

4．定款の修正について(神田理事)

第 2 章会員第 9 条と第 6 章理事会第 50 条の修正を第 9 回社員総会に議案として提出する→承認

5．新入会員の承認について(吉本事務局長)

2021 年 4 月から 9 月の新規入会会員についての確認→承認

Ⅳ.その他　連絡事項等

1．議事録署名人について

吉本事務局長から指名があり決定する。神保会長、野々垣監事、澤口理事、望月理事。

2．三役会理事会資料と事業計画・予算案の資料の提出について

11 月 7 日(日)20 時までとする

３．戸塚理事よりあいさつ

出産育児に向けて本日をもって一定期間理事業務をお休みする。学会評議委員会事業の主業務は田中副会長に託している。出産後、理事の業務は可能な範囲で継続していきたいと思っている。皆様のご協力を今後ともよろしくお願いします。

４．対面式理事会の開催について

神保会長より、今年度の新理事就任とお互いのコミュニケーションの促進を図るために、今年度に対面式での理事会の開催を模索していきたい。今後の感染流行状況、ワクチンの追加接種状況などを踏まえながら検討していく。

５．監事より

長時間にわたる活発な議事運営お疲れさまでした。会員の利便性の向上から定款の整備など、多岐にわたる検討がなされていました。定款や規約に則って当会が運営できるようにこれからも継続してください。

議事録署名人	議長：	神保　武則	印
	理事：	澤口　勇	印
	理事：	望月　強併	印
	監事：	野々垣　睦美	印

次回理事会日程：2021 年 11 月 21 日(日)13 時より開催予定